

令和元年度 第1回常任幹事会

- 1 日時 令和元年5月20日(月) 19:00~20:30
- 2 場所 三宮センタープラザ 西館6階 第6会議室
- 3 出席者 安藤会長、黒澤副会長、
常任幹事(向井、永井、飯塚、川口、竹本、門脇、喜多、能沢)
- 4 議事内容
 - (1) 平成30年度総会(資料1・2)
(総会・懇親会の反省点・改善点)
 - ・昨年度は総会終了が15分遅れたため、今年度は支部活動報告を懇親会へ移すことを各支部と調整する。
 - (2) 引き継ぎ(資料3)
(弔電の取り扱い)
 - ・会計監事から「弔電の対象が明確でなく、費用も比較的高額なため、どのように運用すべきか。」との相談があったため、「大学教員や暁木会活動に貢献した方などに限定し、会計幹事が会長に相談し決定する。」こととした。
(暁木会ニュース)
 - ・学年幹事に同窓会を開催した場合は、暁木会ニュースに寄稿するよう依頼する。
 - (3) 暁木会をとりまく継続的な課題(資料5)
(暁木会会計)
 - ・会計幹事から「平成29・30年度決算ともにマイナスとなっており、会費会員の獲得と支出の見直しが必要である。」と報告があった。
 - ・このため、会費会員の獲得に向けて、常任幹事が自社や前後学年の会費未納会員を勧誘するなどの対策を行う。
 - ・支出の見直しについては、名簿に広告を掲載する、名簿の配布を希望制に変更し発行部数を抑えるなどの対策を検討する。
(学術振興基金の運用)
 - ・会計幹事から「現在普通預金で運用している学術振興基金について、元本確保を前提に比較的利率の高い信用金庫等の1年定期預金で運用してはどうか。」との提案があり、まずは、信用金庫にヒアリングを行い、メリット・デメリットを整理することとした。
 - (4) 暁木会会長・副会長が出席する行事(資料8)
 - ・東京支部総会(6/7)、広島支部総会(8/2)には会長、東海支部総会(10/4)、岡山支部総会(8~9月中旬)には副会長が出席することを基本に調整を進める。